

**製品名: IGF2-BP2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12426**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	65kDa

**抗原情報**

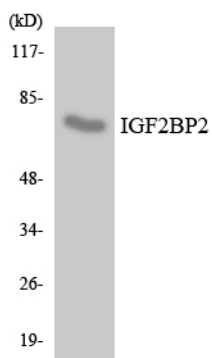
遺伝子名	IGF2BP2 IGF2BP2; IMP2; VICKZ2; Insulin-like growth factor 2 mRNA-binding protein 2; IGF2 mRNA-binding protein 2; IMP-2; Hepatocellular carcinoma autoantigen p62; IGF-II mRNA-binding protein 2; VICKZ family member 2
別名	
遺伝子 ID	10644.0
SwissProt ID	Q9Y6M1
免疫原	抗血清はヒト IGF2BP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 141-190

**背景**

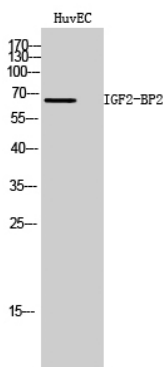
この遺伝子は、インスリン様成長因子 2 (IGF2) mRNA の 5' UTR に結合し、その翻訳を制御するタンパク質をコードしています。代謝において重要な役割を果たしており、この遺伝子の変異は糖尿病感受性と関連しています。選択的スプライシングとプロモーター利用により、複数の転写バリエーションが生じます。関連する擬似遺伝子は複数の染色体上に存在します。 [RefSeq 提供、2016 年 9 月], 疾患: 肝細胞癌の一部患者の血清中に IGF2BP2 に対する自己抗体が検出されています。 ,機能: インスリン様成長因子 2 (IGF2) mRNA の 5' UTR に結合します。結合はアイソフォーム特異的です。標的 mRNA の翻訳を制御する可能性があります。 ,類似性: RRM IMP/VICKZ ファミリーに属します。 ,類似性: 2つの RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを含みます。 ,類似性: 4つの KH ドメインを含みます。 ,細胞内局在: 精子の結合片と尾部に局在します。 ,サブユニット: HNRPD と相互作用します。 ,組織特異性: 卵母細胞、小型および成長中の卵胞の顆粒膜細胞、ライディッヒ細胞、精原細胞、精液に発現します (タンパク質レベル)。精巣癌に発現します (タンパク質レベル)。心臓、胎盤、骨格筋、骨髄、結腸、腎臓、唾液腺、精巣、膵臓に弱く発現します。胎児肝臓、胎児卵巣、精巣原細胞、精巣間質細胞に検出されます。 ,

## 研究分野

## 画像データ



IGF2BP2 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



IGF2-BP2 ポリクローナル抗体を用いた HuvEC 細胞のウェスタンブロット解析